

2022年度

一般社団法人埼玉県バスケットボール協会  
アンダー15カテゴリー部会 代表者会議

兼 第4回SBDL U15オータムラウンド代表者会議

SAITAMA BASKETBALL DEVELOPMENT LEAGUE  
通称：SBDL：埼玉県バスケットボール育成リーグ

2022.8.7（土）14:00～17:00

於 ZOOMオンライン形式



## 事務連絡

- ① ミーティング参加時の名前表示
  - ・ 「男女+所属リーグ+チーム略称+氏名」  
例：「男6西Aセルツ B 立花」  
例：「女3Cスパーズ A 立花」
- ② 出席者の確認について
  - ・ U15部会事務局及び指導者養成委員会が名前表示をもとに確認
  - ・ 必要に応じて個別チャットで確認。
- ③ **ミュート、画面オフにしてください**  
14:00開始時刻まで待機室でお待ちいただきます
- ④ **最大数100の件、確認しております、お待ちください**

# 流れ

## 14時00分 会議開始 全体会・事業説明

### 14時30分 インテグリティ講習 1

- ・ SBAU15事業のインテグリティに関する取り組みと考え方
- ・ これまでの事例および問題発生時の通告対応とその流れ

### 15時00分 休憩

### 15時15分 インテグリティ講習 2

- ・ チームとしての暴力暴言根絶宣言の重要性
- ・ 暴力暴言根絶のために有効なコーチングスキル
- ・ 全チームにおける暴力暴言根絶宣言カードの作成

### 15時30分 インテグリティ講習 3

- ・ チームとしての暴力暴言根絶宣言（グループ内で宣言）
- ・ 本日の活動についてフィードバック・シェア

### 16時00分 全体会終了・分科会（グループリーグ）へ移動



**16時00分 全体会終了・分科会（グループリーグ）へ移動**

## 休憩

**16時10分 グループ代表者会議（ブレイクアウトルーム活用）**

- ・各チーム挨拶、今後の連絡方法の確認
- ・事前集約した各チーム都合一覧を皆で確認
- ・可能な範囲で日程調整（少なくとも会場提供日の確認）
- ・都合提出日以外のナイトゲーム等別途スケジュール提出日確認
- ・スケジュール完成日の確認
- ・終了したグループは随時解散 16時30分 終了時刻

# 流れ

## 14時00分 会議開始 全体会・事業説明

### 14時30分 インテグリティ講習 1

- ・ SBAU15事業のインテグリティに関する取り組みと考え方
- ・ これまでの事例および問題発生時の通告対応とその流れ

### 15時00分 休憩

### 15時15分 インテグリティ講習 2

- ・ チームとしての暴力暴言根絶宣言の重要性
- ・ 暴力暴言根絶のために有効なコーチングスキル
- ・ 全チームにおける暴力暴言根絶宣言カードの作成

### 15時30分 インテグリティ講習 3

- ・ チームとしての暴力暴言根絶宣言（グループ内で宣言）
- ・ 本日の活動についてフィードバック・シェア

### 16時00分 全体会終了・分科会（グループリーグ）へ移動



2022年度

一般社団法人埼玉県バスケットボール協会  
アンダー15カテゴリー部会 代表者会議  
兼 第4回SBDL U15オータムラウンド代表者会議

# 全体会



**今回は、U15カテゴリー事業説明とともに、  
インテグリティに関する講習を兼ねます**

**講習会講師が事業説明と重なるため**

**講師自己紹介など**

**講習会用の運営をさせていただきます**

## コーチデベロッパー自己紹介

氏名：立花 正司 （たちはな まさし）

勤務先：毛呂山町立川角中学校

責任：埼玉県バスケットボール協会理事 兼 U15カテゴリー部会長  
JBA A級コーチ（ジュニアエキスパート、コーチデベロッパー）  
JBA B級審判員

指導歴：U12 越生エンドレスAC.HC  
U15 川越富士見中男子HC、越生中男女HC、川角中男女HC  
Nightingale Basketball Academy.男女HC  
埼玉県選抜Jrオールスター男子、埼玉県DC男子  
U16 埼玉県少年国体男子スタッフ  
U22 埼玉医科大学男女



## 本時のゴール

### 参加者皆様が

- ・ U15カテゴリーの事業の全体像を確認できる
- ・ チームスタッフとして、インテグリティの重要性を理解し  
子どもたちのより良い環境のために暴力暴言を根絶する意志を持つ
- ・ 9月からのSBDLオータムラウンドに向け、グループにおける  
チーム同士の連絡体制や調整の時期・方法を明確にする

1. 県協会U15カテゴリー一部会事業
2. リーグ戦の目的
3. リーグ化の意義
4. 年間計画
5. リーグの構造
6. 実際の運営
7. リーグ戦レギュレーション
8. U15カテゴリー一部会の説明



# 1. 県協会U15カテゴリー一部会事業

2. リーグ戦の目的

3. リーグ化の意義

4. 年間計画

5. リーグの構造

6. 実際の運営

7. リーグ戦レギュレーション

8. U15カテゴリー一部会の説明



# 全体会 1 県協会事業



## 公益財団法人日本バスケットボール協会(JBA) / 一般社団法人埼玉県バスケットボール協会(SBA)開催事業一覧

分類	No.	正式名称	呼称	略称	主催	主管	開催時期	中体連比較	参加規模	予選有無 (参加資格)	上位大会	競技規則	コーチ ライセンス	チーム構成	備考
【JBA公式トーナメント事業】															
全国大会	1	20●●年度 第●回全国U15バスケットボール選手権大会 (英語表記: U15 JAPAN BASKETBALL CHAMPIONSHIP)	Jr.ウィンターカップ20●●●● (英語表記: Jr. WINTER CUP 20●●●●)	JWC	JBA		1月初旬	中体連全中に相当	全52チーム	予選あり	-	要項の通り	D級以上 (COVID19発生により 2022はE級)	スタッフ4、選手15の計19名以内	-
【SBA公式トーナメント事業】															
選手権	1	20●●年度 第●回埼玉U15バスケットボール選手権大会 兼 全国U15バスケットボール選手権大会埼玉県予選会二次ラウンド (英語表記: U15 SAITAMA BASKETBALL CHAMPIONSHIP)	ウィンターゲームズ20●●●● (英語表記: WINTER GAMES 20●●●●)	WG	SBA	SBA U15部会	11月	中体連県大会ベスト16以上に相当	全16チーム	予選あり	1位のみ 全国出場権	全国U15選手権に準ずる	D級以上 (COVID19発生により 2022はE級)	スタッフ4、選手15の計19名以内	-
秋季大会	2	20●●年度 第●回埼玉U15バスケットボール秋季大会 兼 全国U15バスケットボール選手権大会埼玉県予選会一次ラウンド (英語表記: U15 SAITAMA BASKETBALL AUTUMN TOURNAMENT)	オータムチャレンジ20●●●● (英語表記: AUTUMN CHALLENGE 20●●●●)	AC	SBA	SBA U15部会 4支部	9月	中体連県大会出場に相当	全38チーム	予選あり	各グループ1位 選手権大会 出場権獲得	全国U15選手権に準ずる	D級以上 (COVID19発生により 2022はE級)	スタッフ4、選手15の計19名以内	-
春季大会	3	20●●年度 第●回埼玉U15バスケットボール春季大会 (英語表記: U15 SAITAMA BASKETBALL SPRING TOURNAMENT)	トップトーナメント20●●●● (英語表記: TOP TOURNAMENT 20●●●●)	TT	SBA	SBA U15部会	4月～5月	中体連県大会に相当	全24チーム	予選あり	各グループ1位 選手権大会 出場権獲得	全国U15選手権に準ずる	D級以上 (COVID19発生により 2022はE級)	スタッフ4、選手15の計19名以内	県予選会に出場するチームを決定する推薦大会
	4	20●●年度 第●回埼玉U15バスケットボール春季大会 (英語表記: U15 ●●●● BASKETBALL SPRING TOURNAMENT)	ブロックトーナメント20●●●● (英語表記: 11BLOCK TOURNAMENT 20●●●●)	11BT	SBA	SBA U15部会	4月～5月	中体連地区代表決定戦に相当	各16チーム ※2022は定数以上の可能性あり	予選あり	各グループ1位 秋季大会 出場権獲得	ローカルルール適用	E級以上 (年度内取得完了を 条件とし、取得済 込みを認める)	スタッフ4、選手15の計19名以内	県予選会に出場するチームを決定する推薦大会
	5	20●●年度 第●回埼玉U15バスケットボール春季大会 (英語表記: U15 ●●●● BASKETBALL SPRING TOURNAMENT)	エリアトーナメント20●●●● (英語表記: 25AREA TOURNAMENT 20●●●●)	25AT	SBA	SBA U15部会 25地区	4月～5月	中体連都市(●●市)大会に相当	県内全チーム	予選なし	各グループ1位 出場権獲得	ローカルルール適用	E級以上 (年度内取得完了を 条件とし、取得済 込みを認める)	スタッフ4、選手15の計19名以内	2022はブロックまで、 (2023以降、参加数に応じ 地区を実施予定)
【SBA公式リーグ戦事業】															
U15 Autumn round	1	20●●年度 第●回 埼玉県バスケットボールデベロップメントリーグ U15オータムラウンド 県チャンピオンズリーグ(1部) (英語表記: SBDL U15 Autumn Round Prefecture Champions League)	SBDL オータムラウンド20●●●● (英語表記: SBDL Autumn Round 20●●●●)	U15DL P-C	SBA	各グループ	9月～11月	中体連県大会ベスト8以上に相当	県全域対象 8チーム	予選あり (事務局選考)	-	全国U15選手権に準ずる	D級以上 (COVID19発生により 2022はE級)	スタッフ4、選手15の計19名以内	結果により次回所属リーグ入れ替えの可能性あり
	2	20●●年度 第●回 埼玉県バスケットボールデベロップメントリーグ U15オータムラウンド 県プレミアリーグ(2部) (英語表記: SBDL U15 Autumn Round Prefecture Premier League)		U15DL P-P	SBA			中体連県大会出場に相当	県全域対象 16チーム (8x2グループ)	予選あり (事務局選考)	-	全国U15選手権に準ずる	D級以上 (COVID19発生により 2022はE級)	スタッフ4、選手15の計19名以内	結果により次回の所属リーグ入れ替えの可能性あり
	3	20●●年度 第●回 埼玉県バスケットボールデベロップメントリーグ U15オータムラウンド 県スーパーリーグ(3部) (英語表記: SBDL U15 Autumn Round Prefecture Super League)		U15DL P-S	SBA			1～3位までは中体連県大会出場に相当	県全域対象 チーム数無制限	予選なし	-	ローカルルール適用	E級以上	スタッフ4、選手15の計19名以内	結果により次回の所属リーグ入れ替えの可能性あり
	4	20●●年度 第●回 埼玉県バスケットボールデベロップメントリーグ U15オータムラウンド ●部支部 チャンピオンズリーグ(4部) (英語表記: SBDL U15 Autumn Round Regional ●●●● Champions League)		U15DL R-C	SBA			中体連県大会ベスト8以上に相当	4支部毎対象 8チーム	予選あり (事務局選考)	-	ローカルルール適用	E級以上 (年度内取得完了を 条件とし、取得済 込みを認める)	スタッフ4、選手15の計19名以内	-
	5	20●●年度 第●回 埼玉県バスケットボールデベロップメントリーグ U15オータムラウンド ●部支部 プレミアリーグ(5部) (英語表記: SBDL U15 Autumn Round Regional ●●●● Premier League ●)		U15DL R-P	SBA			中体連県大会ベスト8以上に相当	4支部毎対象 16チーム (8x2グループ)	予選あり (事務局選考)	-	ローカルルール適用	E級以上 (年度内取得完了を 条件とし、取得済 込みを認める)	スタッフ4、選手15の計19名以内	-
	6	20●●年度 第●回 埼玉県バスケットボールデベロップメントリーグ U15オータムラウンド ●部支部 スーパーリーグ(6部) (英語表記: SBDL U15 Autumn Round Regional ●●●● Super League ●)		U15DL R-S	SBA			中体連県大会ベスト8以上に相当	4支部毎対象 無制限	予選なし	-	ローカルルール適用	E級以上 (年度内取得完了を 条件とし、取得済 込みを認める)	スタッフ4、選手15の計19名以内	-
U14 Winter round	1	20●●年度 第●回 埼玉県バスケットボールデベロップメントリーグ U14ウインターラウンド 県チャンピオンズリーグ(1部) (英語表記: SBDL U14 Winter Round Prefecture Champions League)	SBDL ウインターラウンド20●●●● (英語表記: SBDL Winter Round 20●●●●)	U14DL P-C	SBA	各グループ	1月～3月	中体連県大会ベスト8以上に相当	県全域対象 8チーム	予選あり (事務局選考)	-	全国U15選手権に準ずる	D級以上 (COVID19発生により 2022はE級)	スタッフ4、選手15の計19名以内	結果により次回の所属リーグ入れ替えの可能性あり
	2	20●●年度 第●回 埼玉県バスケットボールデベロップメントリーグ U14ウインターラウンド 県プレミアリーグ(2部) (英語表記: SBDL U14 Winter Round Prefecture Premier League)		U14DL P-P	SBA			中体連県大会ベスト8以上に相当	県全域対象 16チーム (8x2グループ)	予選あり (事務局選考)	-	全国U15選手権に準ずる	D級以上 (COVID19発生により 2022はE級)	スタッフ4、選手15の計19名以内	結果により次回の所属リーグ入れ替えの可能性あり
	3	20●●年度 第●回 埼玉県バスケットボールデベロップメントリーグ U14ウインターラウンド 県スーパーリーグ(3部) (英語表記: SBDL U14 Winter Round Prefecture Super League)		U14DL P-S	SBA			中体連県大会ベスト8以上に相当	県全域対象 チーム数無制限	予選なし	-	ローカルルール適用	E級以上	スタッフ4、選手15の計19名以内	結果により次回の所属リーグ入れ替えの可能性あり
	4	20●●年度 第●回 埼玉県バスケットボールデベロップメントリーグ U14ウインターラウンド ●部支部 チャンピオンズリーグ(4部) (英語表記: SBDL U14 Winter Round Regional ●●●● Champions League)		U14DL R-C	SBA			中体連県大会ベスト8以上に相当	4支部毎対象 8チーム	予選あり (事務局選考)	-	ローカルルール適用	E級以上 (年度内取得完了を 条件とし、取得済 込みを認める)	スタッフ4、選手15の計19名以内	-
	5	20●●年度 第●回 埼玉県バスケットボールデベロップメントリーグ U14ウインターラウンド ●部支部 プレミアリーグ(5部) (英語表記: SBDL U14 Winter Round Regional ●●●● Premier League ●)		U14DL R-P	SBA			中体連県大会ベスト8以上に相当	4支部毎対象 16チーム (8x2グループ)	予選あり (事務局選考)	-	ローカルルール適用	E級以上 (年度内取得完了を 条件とし、取得済 込みを認める)	スタッフ4、選手15の計19名以内	-
	6	20●●年度 第●回 埼玉県バスケットボールデベロップメントリーグ U14ウインターラウンド ●部支部 スーパーリーグ(6部) (英語表記: SBDL U14 Winter Round Regional ●●●● Super League ●)		U14DL R-S	SBA			中体連県大会ベスト8以上に相当	4支部毎対象 無制限	予選なし	-	ローカルルール適用	E級以上 (年度内取得完了を 条件とし、取得済 込みを認める)	スタッフ4、選手15の計19名以内	-
【SBA公式育成事業】															
県	1	20●●年度 埼玉県バスケットボールデベロップメントセンター 埼玉U1●指定選手 (英語表記: SBDC U1● ALL SAITAMA)	SBDC U1● 20●●●● (英語表記: SBDC U1● 20●●●●)	県DC	SBA	SBA U15部会 育成委員会	通年	県選抜選手に相当	県全域対象 25名程度	選考あり (トライアウト通過者)	-	-	-	-	選考会には支部から推薦された選手のみ参加可能
支部	2	20●●年度 埼玉県バスケットボールデベロップメントセンター 埼玉U●支部U1●指定選手 (英語表記: SBDC U1● ALL ●●●●(East, West, South, North))	SBDC U1● 20●●●● (英語表記: SBDC U1● 20●●●●)	支部DC	SBA	SBA U15部会 育成委員会	通年	支部選抜選手に相当	4支部毎対象 35名程度	選考あり (トライアウト通過者)	-	-	-	-	選考会には誰でも参加可能 一次、二次選考あり

## 事業について

- **2022新規トーナメント事業発足**
  - 年間リーグ と 中学3年での最後のトーナメントチャレンジの場
  - トーナメントだけでも出たい参加したいと思う選手の機会創出
  - U15バスケットボールファミリー全体の組織力向上  
(トーナメントは「運営役員」と「参加チーム」)  
(リーグは参加チーム皆で運営していくもの)
- **2019より新たな文化構築への挑戦**
  - コロナ禍にも関わらず多くの新規チームが参戦してくれている現状
  - 令和5年度の部活動改革を前に、少しずつ、県全域で地域の大人が子ども達のスポーツ環境を守っていく準備がすすんでいる埼玉県
  - リーグ戦を通じ、明らかにDNP減少がみられる  
新時代のコーチ達が創り上げるスポーツ素晴らしい環境といえる
- **これらの事業を視覚化して皆様にわかりやすく伝えていくのが我々の課題**

- Prefectural League → 県リーグ(略称：PL) (最大3階層)
- Regional League → 地区リーグ(略称：RL) (最大3階層)
- Winter Round → 14歳以下のリーグ戦(略称：WR)
- Autumn Round → 15歳以下のリーグ戦(略称：AR)
- チーム → JBAにチーム登録した組織の単位
- ユニット → リーグ戦にエントリーする組織の単位

1. 県協会U15カテゴリー一部会事業
- 2. リーグ戦の目的**
3. リーグ化の意義
4. 年間計画
5. リーグの構造
6. 実際の運営
7. リーグ戦レギュレーション
8. U15カテゴリー一部会の説明



**実力が拮抗したゲームの設定を通して、  
登録したすべての選手の長期的な育成を図ること。**



## ■ 事業概要

1. 目的達成のため、都道府県協会（PBA）の独自性を活かしながら計画・実施する事業である。
2. リーグ戦実施が目的ではなく、リーグ戦文化を定着させることで、拮抗した試合を設定し、選手や指導者の育成を目指すものである。
3. 埼玉県U15C部会では、2020年度完全実施した

1. 県協会U15カテゴリー一部会事業
2. リーグ戦の目的
- 3. リーグ化の意義**
4. 年間計画
5. リーグの構造
6. 実際の運営
7. リーグ戦レギュレーション
8. U15カテゴリー一部会の説明



### U15カテゴリー一部会設置の背景：課題と解決策

①中3のプレー環境整備

②クラブチームの環境整備

③Bユースの環境整備

④試合数の格差

⑤未登録チーム・未登録選手

⑥並列する複数の組織

競技会システムの見直し

↳リーグ戦の推奨

↳クラブチーム参加可能な大会の創設

↳JBA主催単独チームによる全国大会  
(都道府県予選あり)の創設

育成方針、育成シ  
ステムに則った大  
会システムの検討

登録制度・体系の見直し

必要な体制、組織の構築

### ■ よりよい育成への変革

現行トナメントの**育成年代へのデメリットの改善**



①リーグ化により選手として**経験の場の増加**  
補欠文化からの脱却→**普及・育成**

②リーグ化によりチームとして**拮抗した試合数の増加**  
適正競技レベルでの経験値増加→**育成**

**今回の改革の主軸 ↓ ↓ ↓ これは、絶対。**

**登録したすべての選手に経験の場を与えること。  
チームとして拮抗した試合を増やすこと。**

# ■ よりよい育成への変革

今回の改革の主軸

**育成年代のすべての子どもたちのための変革**

- ① すべての登録選手 → 経験の場の増加 → 補欠文化からの脱却
- ② すべてのチーム → より拮抗した試合 → 適正競技レベルでの経験値増加

つまり、



県内トップレベルの数チームや数人の選手のためだけに  
良い環境が整備されるようなリーグ化への変革ではない。

だからこそ、



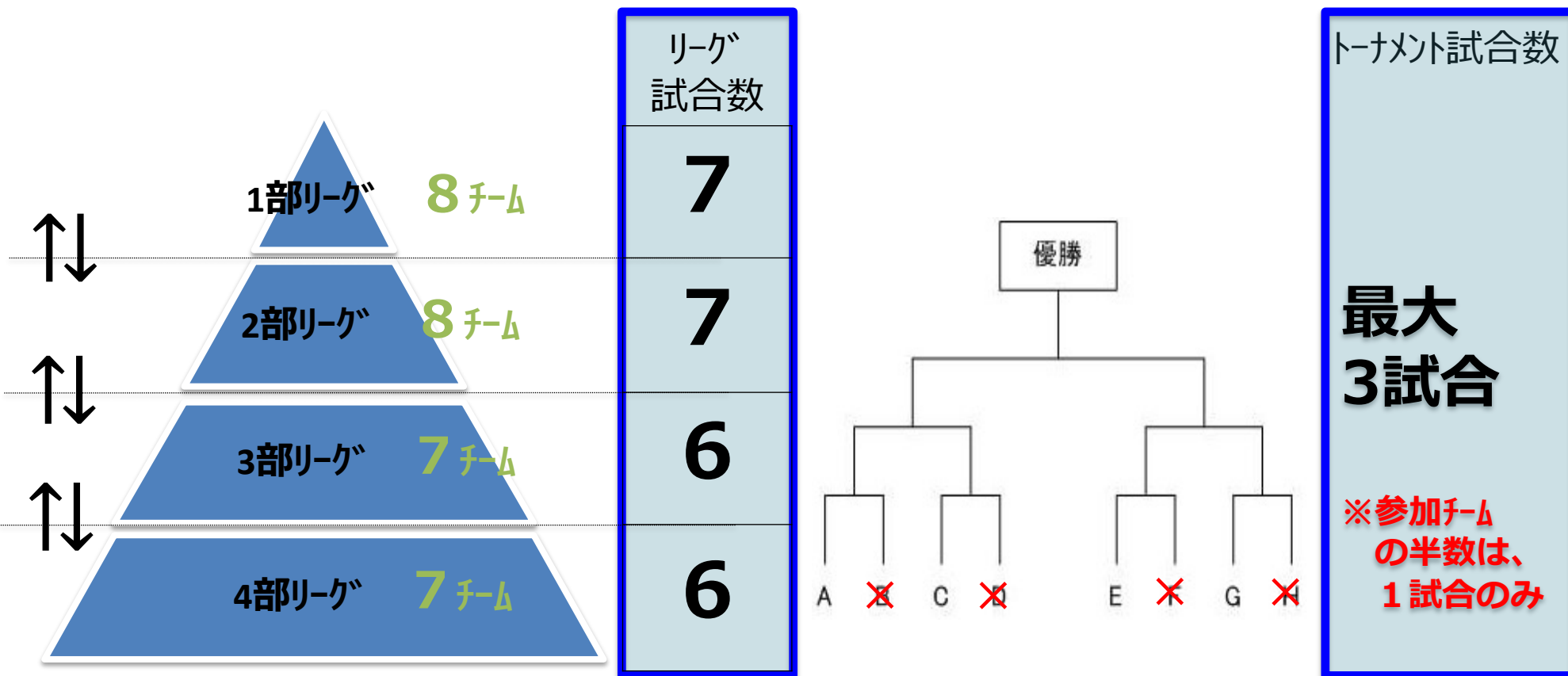
こどもたちを支える**我々大人の、多くの力が絶対に必要。**  
(一部の大人だけで運営すれば、一部の子たちしか恵まれない。)

埼玉県U-15を預かる我々は、



**すべての子どもたちを支えたい。**  
**だから、すべての大人で運営しましょう。**  
**子どもたちのために、力を貸してください。**

# 【普及】一定試合数確保によるプレー機会の創出



- 参加チームに対して一定試合数が確保される
- 適正競技レベルでの試合が増加することで拮抗した試合のなかで経験値増加が見込まれる

# 【試合数の変化イメージ】

### ■ 年間試合数(トーナメントのみ)

(参考大会：2015バスケ)  
年間4大会設置

県内登録チーム数 171

全大会優勝した場合	20 試合
// ベスト8の場合	12 試合
// 初戦敗退の場合	3 試合

### ■ 年間試合数(リーグ・トーナメント並行実施)

(参考大会:2015サッカー)  
年間4大会設置

+

リーグ大会(9ヶ月)設置

県内登録チーム数 171

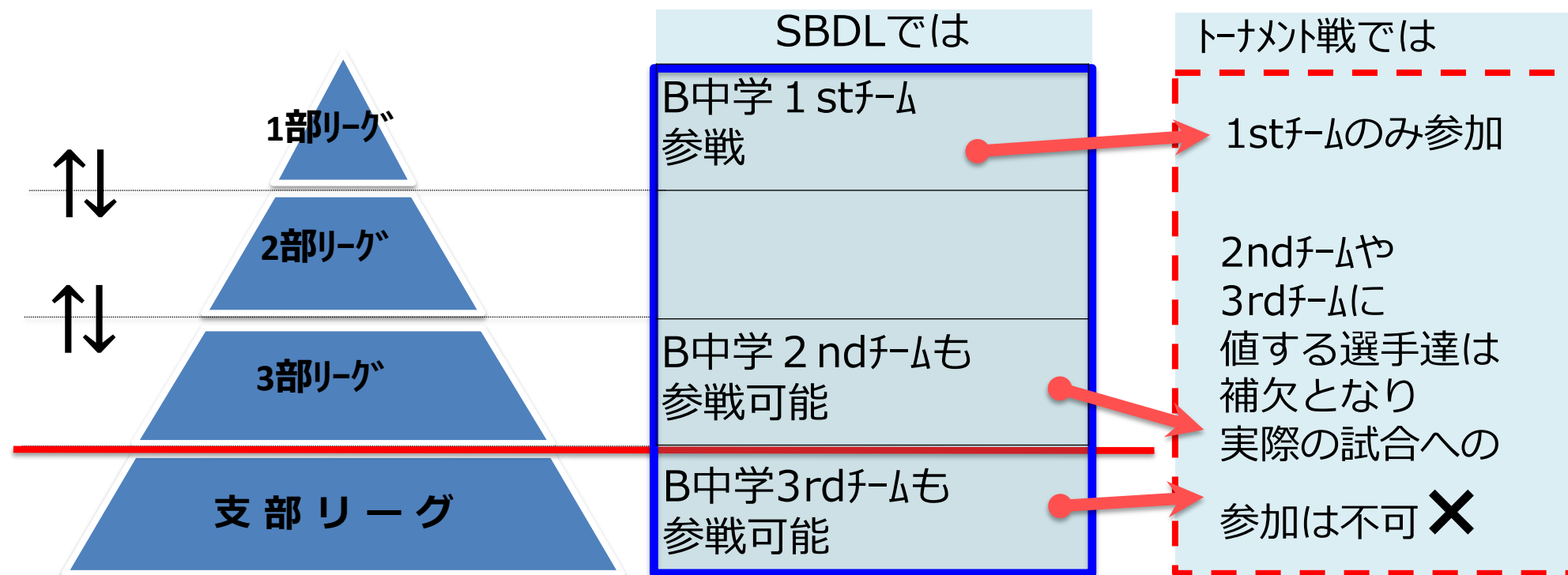
全大会優勝した場合	36 試合
// ベスト8の場合	31 試合
// 初戦敗退の場合	22 試合

- リーグ 試合数が確保される = **試合のある日常**

# 【普及】補欠をなくすプレー機会の創出

## 【複数チームエントリーのイメージ】

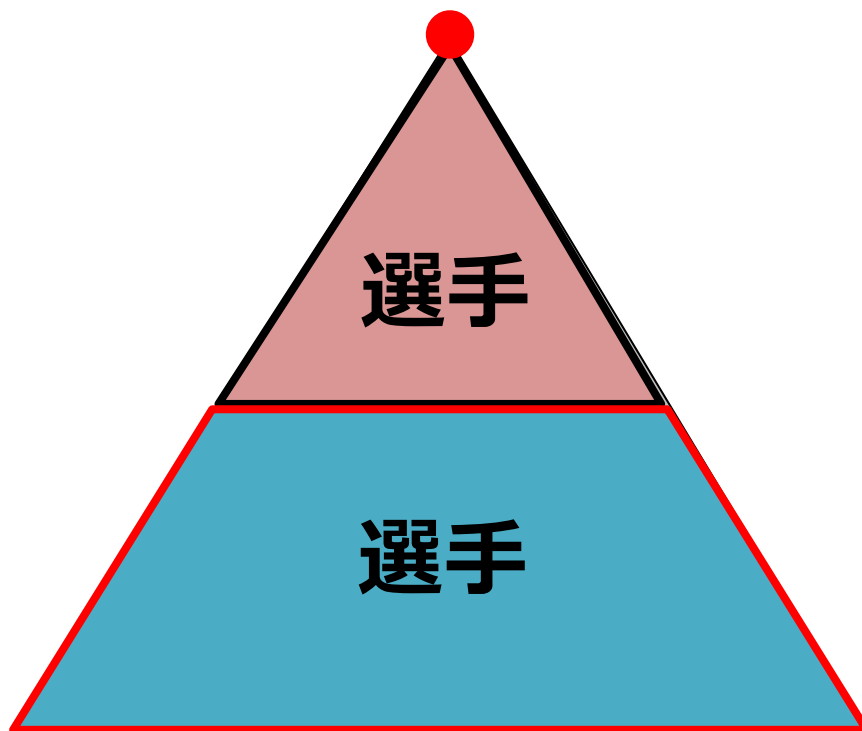
◆リーグ戦にB中学30人を3チームでエントリーした場合



- 複数チームエントリーの場合、**2チーム目以降の登録人数は、7名以上とする**
- 一人の選手が複数のチームに参加することは、**当然認めない。**



# 【育成】選手ピラミッドを効率化する



選手(競技者)ピラミッド

### トーナメント文化

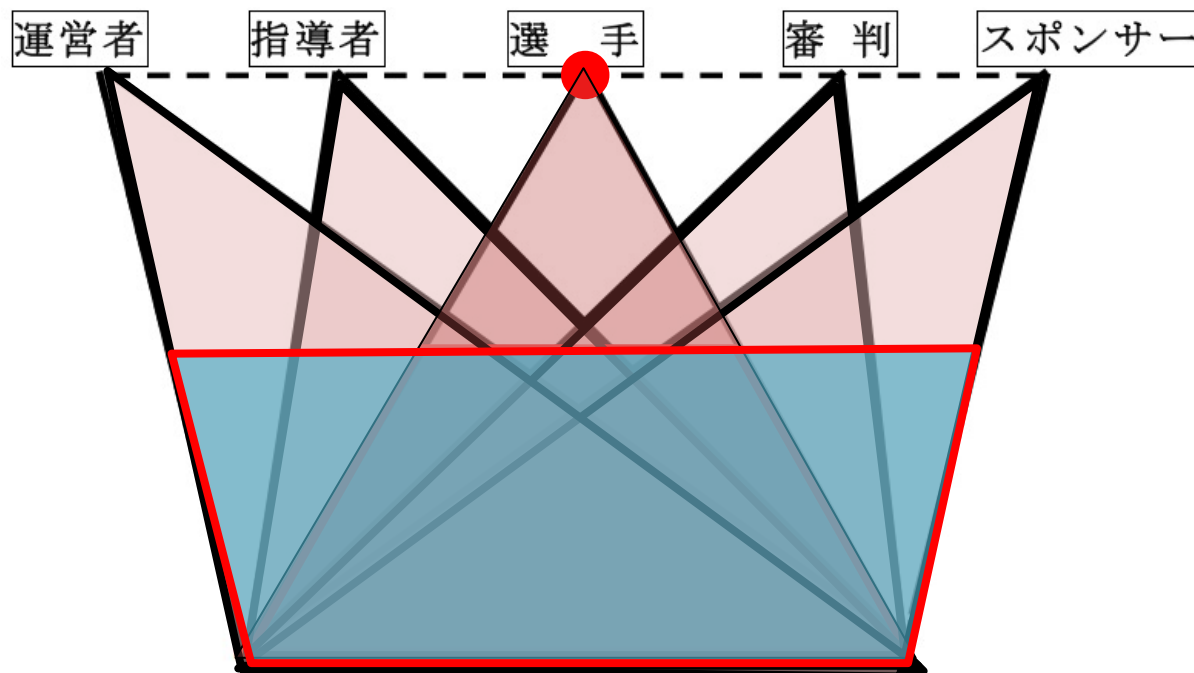
ピラミッドの上層のみ高める  
下層は補欠となる

### リーグ文化

ピラミッド下層にも競争機会を作る  
下層に出場選手として機会を作る

- 上層のみを高めるのではなく、これまで陽の当たりにくかったすべての選手を大切に育てていくということ。

# 【普及】バスファミリーピラミッドの数を増やす



当事者 (出場選手) として試合に関わった選手

出場選手としての  
競技との関わりの増加



多様な競技との関わり方  
バスファミリーの増加



持続可能な競技発展へ



- スポーツへの多様なかかわり方が、競技を発展させるだけでなく、その人自身の人生を豊かにし、絆の深い社会を構築していくことになる。

### ■リーグ化に伴う課題

リーグ化により以下の様な課題が想定され、  
実施後の現在も困難さを抱えている

① **会場確保** … **地域や学校との連携・協力**

(鍵：地域総合型スポーツクラブ)

② **審判確保** … **試合に必要、育成の重要性**

(鍵：チームでどれだけ育成しているか)

(Jr.審判制度、移行期のシステム)

③ **日程確保** … **中3受験期、育成世代のスポーツ**

(鍵：パラダイムシフト・選手指導者達皆で戦う)

(大人一人で全てを調整する文化には限界がある)

### ■ リーグ戦文化の発展に向けて

適切な普及は、

**バスケットボールファミリーを増やし、  
未来の日本バスをより良く作り替えていきます**

適切な育成は、

**未来の強い日本代表作りへ繋がっていきます**

リーグ化の実現には、各カテゴリーや都道府県それぞれの異なる実態から、47通りの課題がある生まれている

- **課題と向き合いながら育成と普及の未来を作っていく作業は、私たちバスケットボールファミリーの絆を高めるチャンスとも考えられます。**

### ■ 事業概要

今回の事業を行うことにより、様々な場面での変化が起こる。

#### ① 試合数の増加      ② 1 団体 1 チームからの脱却

- 総当たりになるため**公式試合数は増加**する。
- 1 団体 1 チームという制限は設けず、技量や年齢に応じて複数のチームでの参加が可能のため、**これまで出場機会が少なかった選手にも、公式戦出場機会の増加が見込まれる。**

ただし、これらは新しい変化であり、既存の考え方だけでは適切な運営は難しい。**これから先、より良い環境を求めその機会を増やす**ということは、その分、支える指導者や役員の協力が必要。

これまでも多くの方々が様々な方面から埼玉県のバスケットボールの向上にご尽力いただきました。**今回の事業は、選手の育成を第一義とする一方で、**  
**埼玉県のバスケットボールが益々発展することを目指すもの**でもあります。

1. 県協会U15カテゴリー一部会事業
2. リーグ戦の目的
3. リーグ化の意義
- 4. 年間計画**
5. リーグの構造
6. 実際の運営
7. リーグ戦レギュレーション
8. U15カテゴリー一部会の説明



# 3 年間計画

- ・まず参加希望受付。希望と前年度成績を元に、リーグ振り分け。
- ・最大数を上回る場合のみ、所属リーグ決定戦。9月第1.2（日）
- ・1～3月U14WR。5月CM（入替戦）。（6月総体）
- ・7月総体県大会後に移籍期間。
- ・9/1～11/7U15県AR
- ・11/15～11/30WM予選

→ 現14歳      → 現13歳      → 現12歳

	4	5	6	7	8
期登 間録 4/1 ∩ 5/30	★ 春季大会 (U-15)				
			学総 地区	学総 県大	全 中

## (2022～2023)

	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
SBA	<span style="color: yellow;">↔</span> Autumn Round (U-15) 9/1～11/27 ★ 秋季大会				<span style="color: orange;">↔</span> Winter Round (U-14) 1/4～3/20 ★ Jr.WC全国			期登 間録 4/1 ∩ 5/30	<span style="color: orange;">→</span> 入替戦 ★ 春季大会 (U-15)			
学校	新人 地区	新人 地区	新人 県大							学総 地区	学総 県大	全 中

## (2023～2024)

	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
SBA	<span style="color: orange;">↔</span> Autumn Round (U-15) 9/1～11/27 ★ 秋季大会				<span style="color: green;">↔</span> Winter Round (U-14) 1/4～3/20 ★ Jr.WC全国			期登 間録 4/1 ∩ 5/30	<span style="color: green;">→</span> 入替戦 ★ 春季大会 (U-15)			
学校	新 地区	新 地区	新 県大							学総 地区	学総 県大	全 中

## ■ スケジュール

**既存のトナメント日程、月1回の休息、各地区の実態や学校スケジュールなどを考慮してリーグ戦参加可能日程を入れこみ計画を作成**

- DCは、原則、第4週（土）14:00-16:00の設定とする。

（集合13:30、練習14:00-16:00、解散目安16:30）

（毎週土曜授業の私立や、大会前で午前はチーム練習へ参加することなども考慮して、午後2時間設定）

- DLは、1ラウンド期間が3ヶ月（約12週）。試合必要週は7週。

- **暑い日のDLは半日実施を推奨、オフィシャルタイムアウトは必須とする。**

（1チームあたり1試合まで。熱中症の危険がある場合には、2試合は行わない。SBAガイドライン厳守。）

**※ 実際の日程詳細は、各グループごとに調整**



1. 県協会U15カテゴリー一部会事業
2. リーグ戦の目的
3. リーグ化の意義
4. 年間計画
- 5. リーグの構造**
6. 実際の運営
7. リーグ戦レギュレーション
8. U15カテゴリー一部会の説明



### ■ 「U-14 所属リーグ決定戦」

#### I リーグの希望と決定権限

どのリーグに所属するかは希望制。希望と前回リーグまでの情報や戦績をもとに、SBAU15部会事務局により所属リーグが決定される

#### II 選択肢

希望するリーグの選択肢は以下の4つである。

ア Champions leagueまたはPremier league

イ Super league

ウ 4支部ごとのChampions leagueまたはPremier league

エ 4支部ごとのSuper league

## ■ 「U-14 所属リーグ構造」

Prefecture league (フﾟリフエクチャーリーグ : 以下 P L)・・・県内全域での活動

	名称	略称	区分	所属チーム最大数
県	Champions league	C	1部	8 (8チーム×1グループ°)
	埼玉県上位ベスト8相当の力を持つチームが行うリーグ戦			
	Premier league	P	2部	16 (8チーム×2グループ° 並列)
	埼玉県上位ベスト16相当の力を持つチームが行うリーグ戦			
	Super league	S	3部	8×希望数 (希望次第、並列)
埼玉県内全域を対象に県レベルで実力を高めたいと考えるチームが、複数のブロックに分かれて行うリーグ戦 県内全域を希望するチーム数によってグループ数が決まる				

## ■ 「U-14 所属リーグ構造」

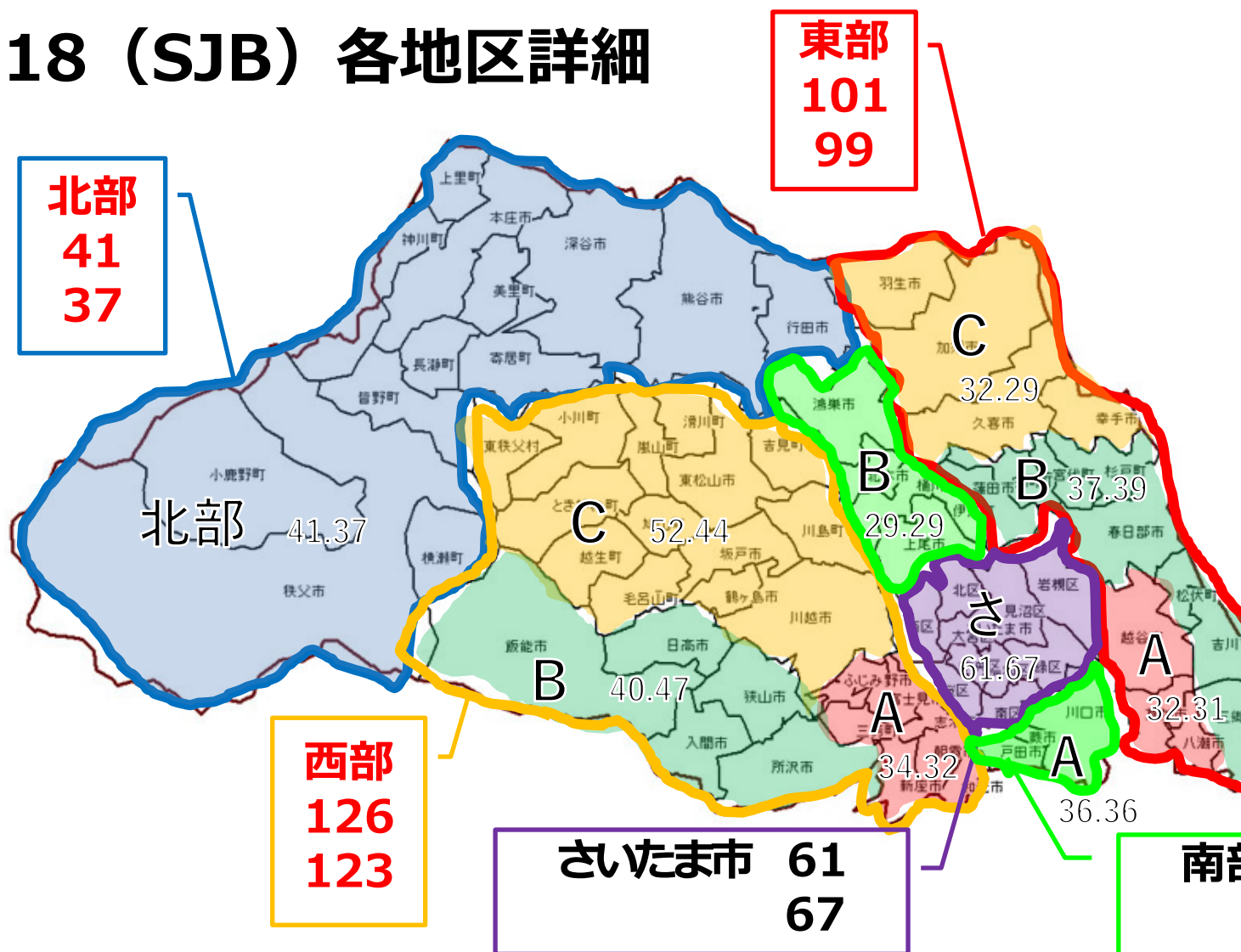
Regional league (リーグ) リーグ : 以下 R L ) …4支部全域 or 11ブロック全域での活動

	名称	ブロック	略称	区分	所属チーム最大数
東部	Champions league		Re-C	4部	8 (8チーム×1グループ°)
	Premier league		Re-P	5部	16 (8チーム×2グループ° 並列)
	Super league	東部 A	Re-SA	6部	無限 (希望次第、並列)
		東部 B	Re-SB		
東部 C		Re-SC			
西部	Champions league		Rw-C	4部	8 (8チーム×1グループ°)
	Premier league		Rw-P	5部	16 (8チーム×2グループ° 並列)
	Super league	西部 A	Rw-SA	6部	無限 (希望次第、並列)
		西部 B	Rw-SB		
		西部 C	Rw-SC		
南部	Champions league		Rs-C	4部	8 (8チーム×1グループ°)
	Premier league		Rs-P	5部	16 (8チーム×2グループ° 並列)
	Super league	南部 A	Rs-SA	6部	無限 (希望次第、並列)
		南部 B	Rs-SB		
		南部 C	Rs-SC		
北部	Champions league		Rn-C	4部	8 (8チーム×1グループ°)
	Premier league		Rn-P	5部	16 (8チーム×2グループ° 並列)
	Super league	北部 A	Rn-SA	6部	無限 (希望次第、並列)
		北部 B	Rn-SB		

## ■ SBDL地域区分の見直し (SBAとしての統一)

28年度SBA所属チーム数  
**男子386、女子380**

### ～2018 (SJB) 各地区詳細



さいたま市のみ  
 大きな規模で地区予選 (多くの日程を要する) を行っている

予選の日程や規模が、地区によって大きく異なっている

高校とのつながりが円滑でない

南部が分断されているため不便

## ■ SBDL地域区分の見直し (SBAとしての統一)

28年度SBA所属チーム数  
男子386、女子380

### 2019～ (SBDL) 各地区詳細

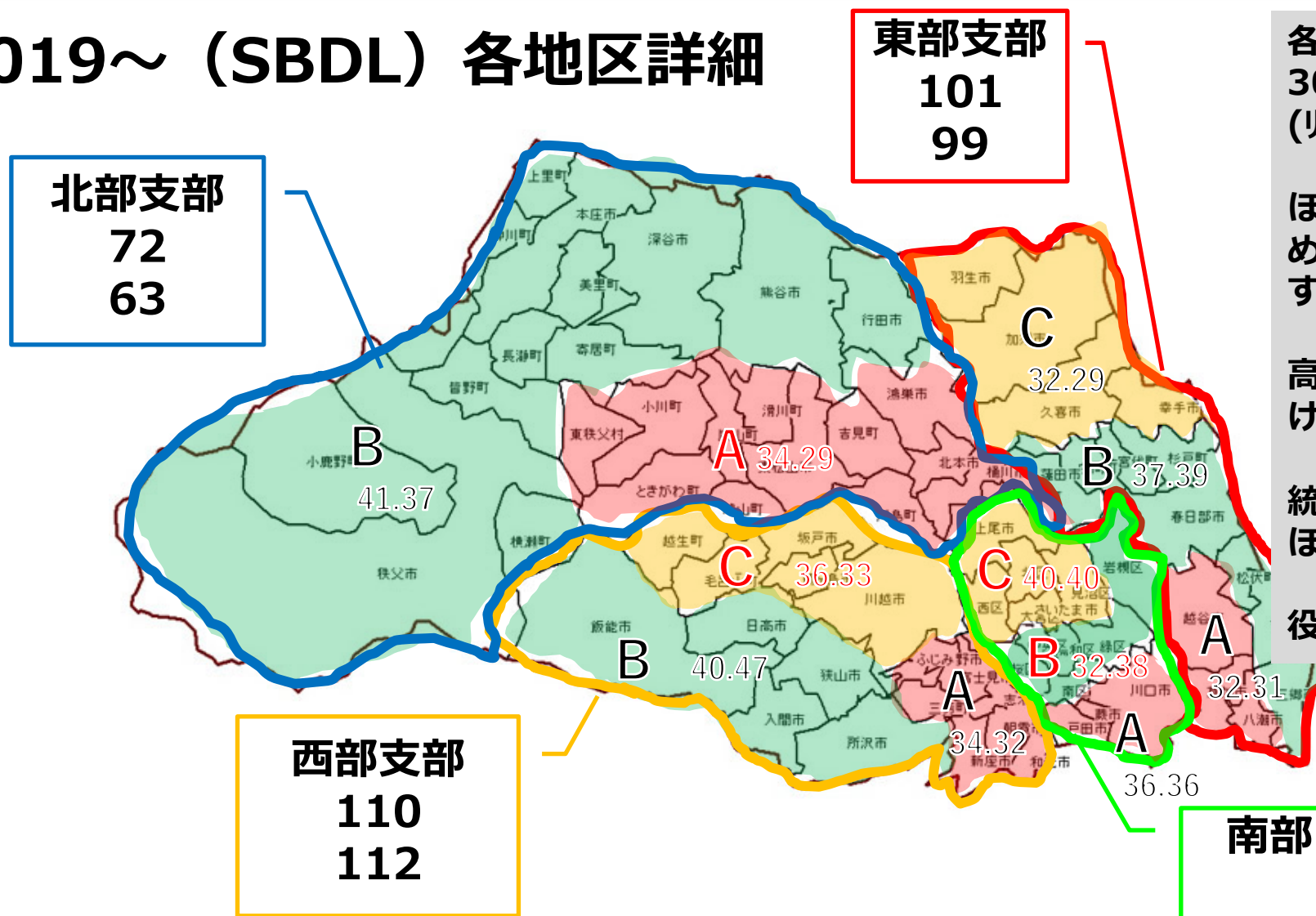
各ブロックは  
30~40で安定  
(リーグ数3~4)

ほぼ同規模のため  
日程が組みやすい

高校と同じ区分けのため  
円滑

統括する校数が  
ほぼ揃う

役員数大幅減



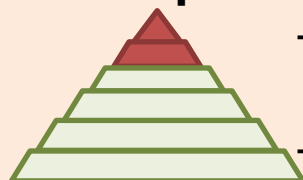
## ■ 学校数一覧

	市町村名	男子	女子	新11地区	新地区男	新地区女
新東部地区	越谷・八潮	21	20	東部A	32	31
	草加	11	11			
	春日部	11	12	東部B	37	39
	蓮田・白岡・宮代・杉戸	14	14			
	三郷・吉川・松伏	12	13			
	加須・羽生	10	9	東部C	23	20
	久喜・幸手	13	11			
	合計	92	90			
新西部地区	朝霞地区(朝霞・志木・和光・新座)	20	18	西部A	34	32
	入間東部	14	14	西部B	40	47
	所沢	15	15			
	狭山	8	9			
	入間	9	11	西部C	36	33
	入間西部	8	12			
	川越	24	21			
	入間北部	12	12			
合計	110	112				
新南部地区	川口市	26	26	南部A	36	36
	蕨・戸田	10	10	南部B	36	42
	さいたま市A (岩槻、浦和区、桜区、緑区、中央区、南区)	36	42			
	さいたま市B (旧大宮市一北区、西区、大宮区、見沼区)	26	25	南部C	40	39
	伊奈	3	3			
	上尾	11	11			
合計	112	81				
新北部地区	北足立北部(現行は南部)	15	15	北部A	40	35
	比企郡(現行は西部)	16	11			
	行田(現行は東部)	9	9			
	秩父	10	9	北部B	41	37
	児玉	9	9			
	熊谷	12	9			
	深谷・寄居	10	10			
合計	81	72				

### ■ 「U-14 所属リーグ決定戦」

#### Ⅲ 希望の条件

##### ア Champions leagueまたはPremier league



- U15選手権およびU15選手権県予選に参加する意思があり、環境（選手・保護者・場合によっては学校関係者の承認）が整っていること
- リーグ戦開催場所が県内全域になっても対応ができること

##### イ Super league



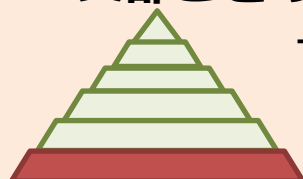
- リーグ戦開催場所が県内全域になっても対応ができること

##### ウ 4支部ごとのChampions leagueまたはPremier league



- リーグ戦開催場所が自チームの支部全域になっても対応ができること

##### エ 4支部ごとのSuper league



- リーグ戦開催場所が自チームのブロック全域になっても対応ができること



## ■ チーム数・試合数

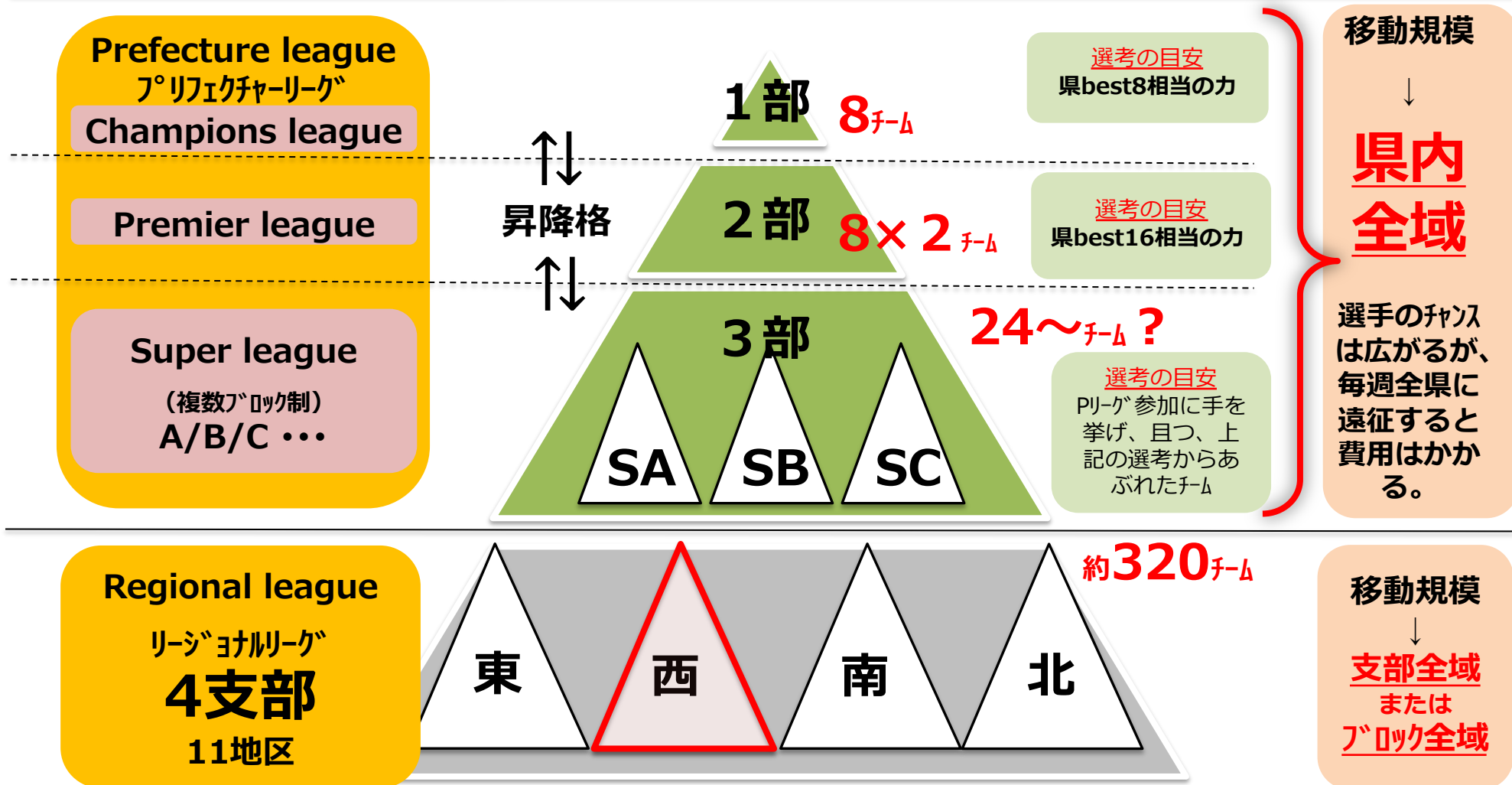
チーム数	1周/1チーム	総試合数	2周/1チーム	総試合数
<b>8チーム</b>	<b>7試合</b>	<b>28試合</b>	<b>14試合</b>	<b>56試合</b>
7チーム	6試合	21試合	12試合	42試合
6チーム	5試合	15試合	10試合	30試合

- ① グループリーグのチーム数によって上記の総試合数の会場確保、日程確保、審判確保が必要となる。
- ② **SBDLでは、チーム数を原則・最大8チームとする。**
- ③ リーグ戦ですべてのチームに**公式戦・年間14試合**が約束される
- ④ トーナメント事業が加わることで、**最低でも年間15試合**  
 (トーナメント発足に伴いリーグ最大数10 から8に変更)  
 (JBAから提示された年間試合数は「**15~20試合以上**」のため、条件を満たす)

# 4 リーグの構造

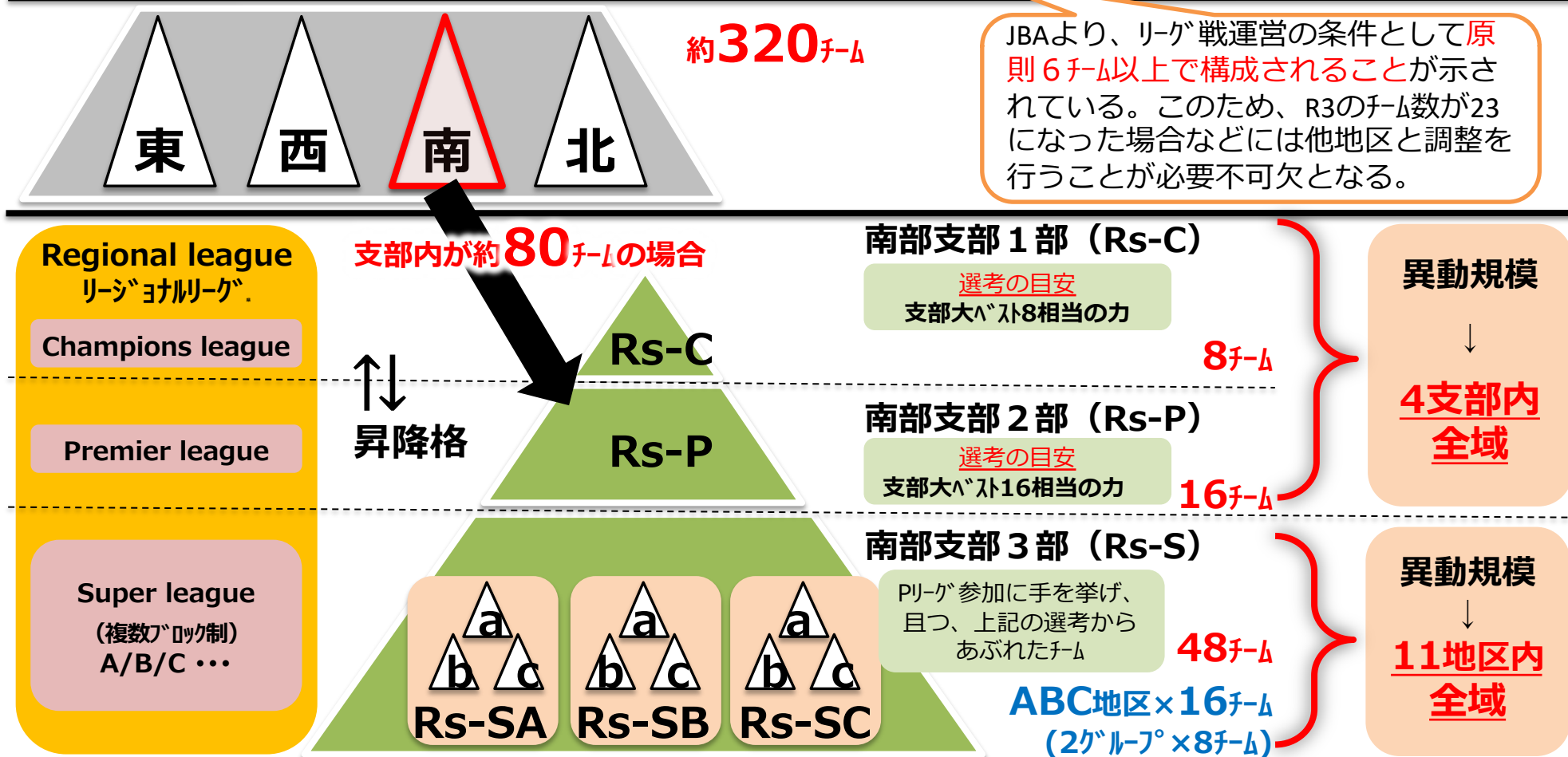
## ■ リーグ構造 「全体イメージ」 28年度SBA所属チーム数 **男子386、女子380**

- ※ PCか.PPか.PSか、RLか、どのリーグに所属したいかは、各チーム**希望制**。
- ※ **希望数が所属最大数を上回った場合は、前年度成績を参考にして、事務局が振り分ける。**



## ■ リーグ構造 「Regional leagueイメーヅ」

- ※ Rリーグ内の、1.2部か3部か、どちらに所属するか決めるのは、各チーム。希望制。
- ※ 昇降格は、Pリーグ内と Rリーグ内1.2部の間でのみ行う。(希望制のため)
- ※ RSリーグは、チーム数に大きくばらつきが出るため、他地区と調整しグループ分けを柔軟に行う。



## ■ 1日の運営例 半日を1パッケージとする

8チーム(8チーム×1リーグ)が1会場2面使用で各チーム半日で1試合の運営例

### ① リーグ X

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
A										
B										
C										
D										
E										
F										
G										
H										
I										
J										

下記の運営日程を

**7日間確保 (3ヶ月で3回、月1回は休息)**

すると、下の8チームリーグを  
1周(28試合)消化可能。

※ 他競技との体育館の兼ね合いもあるため、「日程調整はできたが会場確保が困難」などという場合には有効。

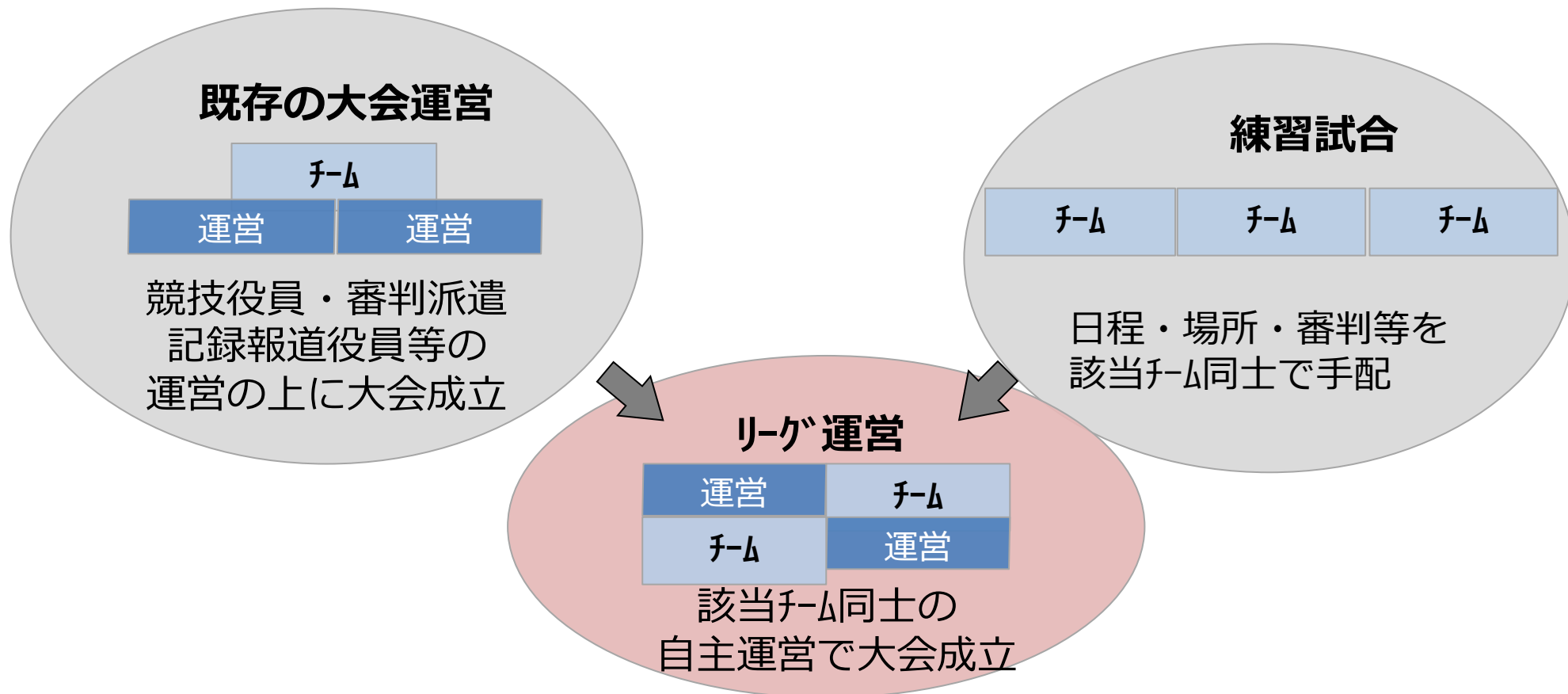
※ 運営的には、少し忙しい。

	時間	Oコート	審判	Pコート	審判	空き
集合	8:00					
第一試合	9:00	<b>A-B</b>	I-J	<b>G-H</b>	D-E	CF
第二試合	10:30	<b>C-D</b>	A-B	<b>I-J</b>	F-G	EH
解散	12:00					

1. 県協会U15カテゴリー一部会事業
2. リーグ戦の目的
3. リーグ化の意義
4. 年間計画
5. リーグの構造
- 6. 実際の運営**
7. リーグ戦レギュレーション
8. U15カテゴリー一部会の説明



## ■ 都道府県リーグスタートに向けた運営の考え方



- 形式がリーグ戦というだけ。
- あくまでも練習試合の感覚で自分たちの手で大会を運営。
- 何より大切にすべきことは、リーグ戦化の意義「選手の育成」

## ■ 都道府県リーグスタートに向けた運営の考え方

### 「リーグ戦を日常にする文化醸成」実現へのリーグ運営

- ① 運営とチームを分ける考え方から、**参加者同士が相互に運営をするという考え方へシフト**する
- ② **運営を役員に任せるという文化の脱却**がリーグ文化醸成、バスファミリーを増やす種まきになる

※ 当日運営以外に必要な**事前準備・中期計画・年間計画**を各アンダーカテゴリ部会で準備する

#### リーグ運営

常に運営者はチームでありチームは運営者である

チーム	運営	チーム	運営
運営	チーム	運営	チーム

勝敗に関係なく参加  
チームとしてゲームと自主  
運営を継続

## ■各リーグのセクション組織の方法

### 「注意点」

- ▶ バス未経験者にいきなり役職が回ってきたときに負担にならないように役割分担を行う。
- ▶ 「運営者」 = 「チーム」「選手のために運営を行う。」子どもがゲームをすることが一番の目的。
- ▶ 全リーグ運営方法を統一することでチーム代表への負担を減らす。

### 仕事内容（例）

	仕事内容
運営委員 2名	○リーグ戦内において各チームの代表者に役割分担を依頼（二人で相談する） ○リーグの実際の運営、要項作成、スケジュール策定、（パンフレットの作成）（1名） ○地区担当との連絡調整、試合結果報告、関係チームへの連絡調整等（1名）
競技担当 2名	○機材の管理・準備、スコアシートの準備・管理、対戦表等の管理等（1名） ○マンツーマンコミッショナーの会場担当者、選手・コーチ証（ID）の確認（1名）
審判担当 2名	○帯同審判の策定、割り当ての作成、審判部との連絡等（2名） *ライセンス取得者が望ましい。
財務担当 2名	○リーグに関わる会計、競技運営部会計との連絡調整等（2名）
会場担当 2名	○会場準備調整、会場の写真撮影（1名） ○駐車場・駐輪場確認、会場での安全管理（1名）

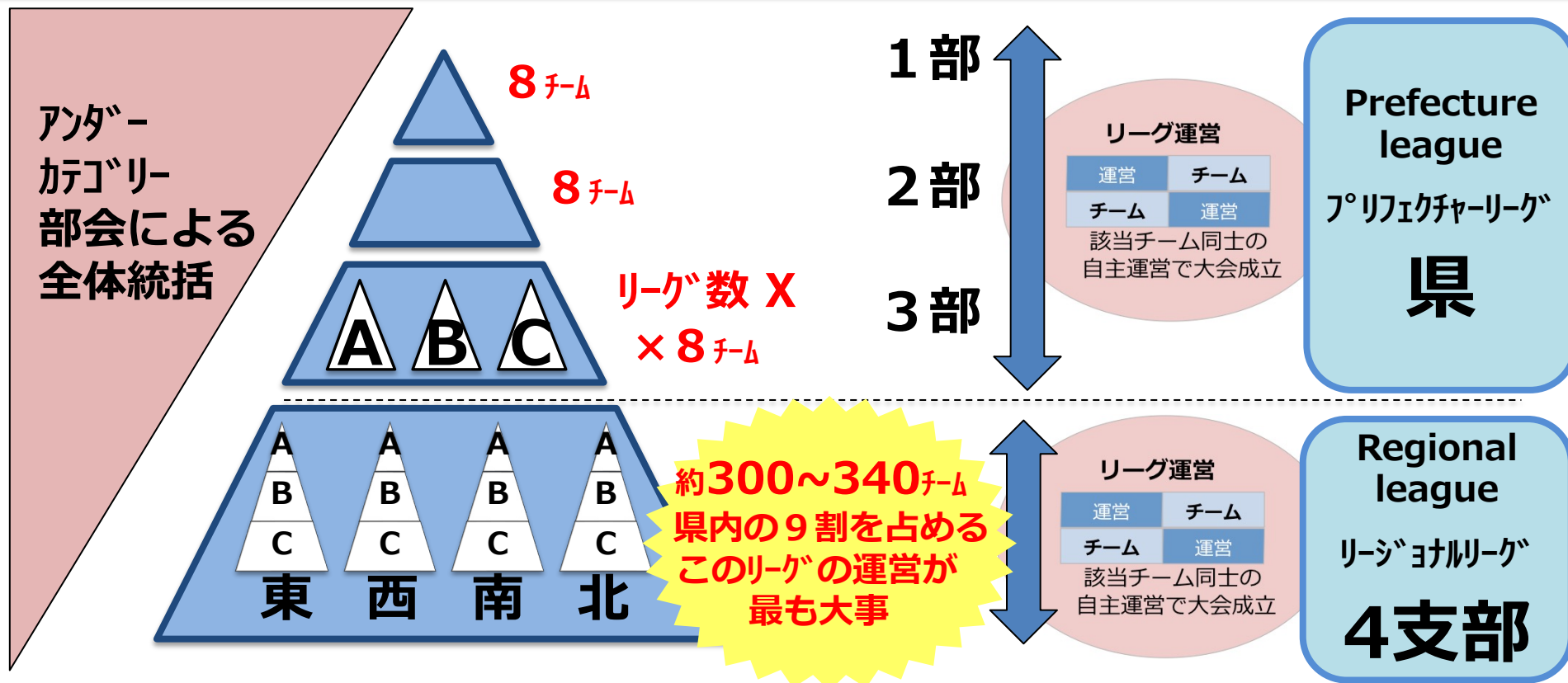
A・Bチームが「運営委員」C・D「競技担当」E・F「審判担当」G・H「財務担当」I・J「会場担当」

### 「伝達方法」

- ▶ Pリーグ（県）の「運営委員」は、U15部会で依頼する。
- ▶ Rリーグ（支部）の「運営委員」は、U15部会の「地区代表」が依頼する。
- ▶ 「運営委員」が各チーム代表者に役割分担を依頼する。
- ▶ 仕事内容は、U15部会で各セクションからの伝達を「運営委員」が伝える。
- ▶ **専門外のチーム代表者がいることに配慮して役割分担を依頼する。（リーグの構成によって柔軟に）**



## ■ SBDL運営イメージ



**運営事務局** (7~8名)

**運営委員** (2名×リーグ数)

➡ 県内リーグ全体の運営統括  
➡ 各リーグ内の運営・調整

1. 県協会U15カテゴリー一部会事業
2. リーグ戦の目的
3. リーグ化の意義
4. 年間計画
5. リーグの構造
6. 実際の運営
- 7. リーグ戦レギュレーション**
8. U15カテゴリー一部会の説明



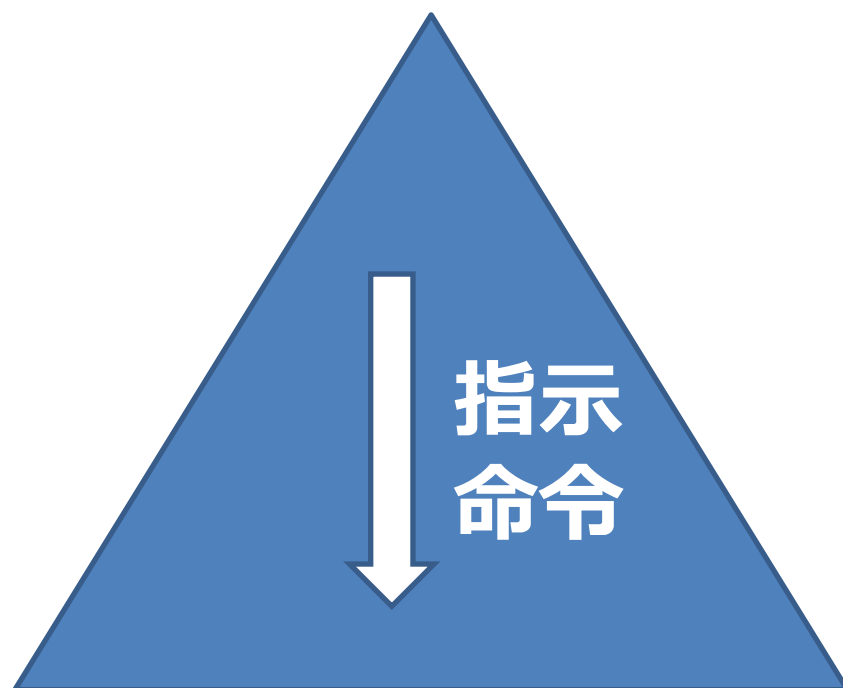
画面共有

リーグ戦要綱で確認

1. 県協会U15カテゴリー一部会事業
2. リーグ戦の目的
3. リーグ化の意義
4. 年間計画
5. リーグの構造
6. 実際の運営
7. リーグ戦レギュレーション
8. **U15カテゴリー一部会の説明**



# 事業へのアプローチの方法



トップダウン・アプローチ



ボトムアップ・アプローチ

### ● 県事務局の主たる仕事の内容、権限

- 事業内容の承認および決定
- JBAからの情報伝達、連絡（技術やマネジメント、ルール改正等）
- 会計処理の方法（報告書の作成や予算の用途等）

### ● これまでの事業を通して、今後の組織としての課題

- 一番の課題は、**組織の脆弱性、情報伝達**
- **公式LINEでの問い合わせ、カテゴリーホームページ作成**
- **今年度、トーナメント事業が発足した。多くの役員の協力を得てトーナメント事業を運営していくことが求められている。**

## 年度当初の理解（整理前） →→→ 埼玉県内での整理後

### 育成委員会

- … 旧エンデバー事業の引継ぎ
- … 「育成センター事業」の運営  
→ 育成世代の【強化の側面】を担う
- … 県協会の専門委員会の一つ

### アンダーカテゴリー部会

- … 新設
- … 「リーグ戦事業・県協会主催競技会」の運営  
→ 育成世代の【普及の側面】を担う
- … 県協会としてのU12.U15.U18世代の各カテゴリーを  
総括する役割を担う。

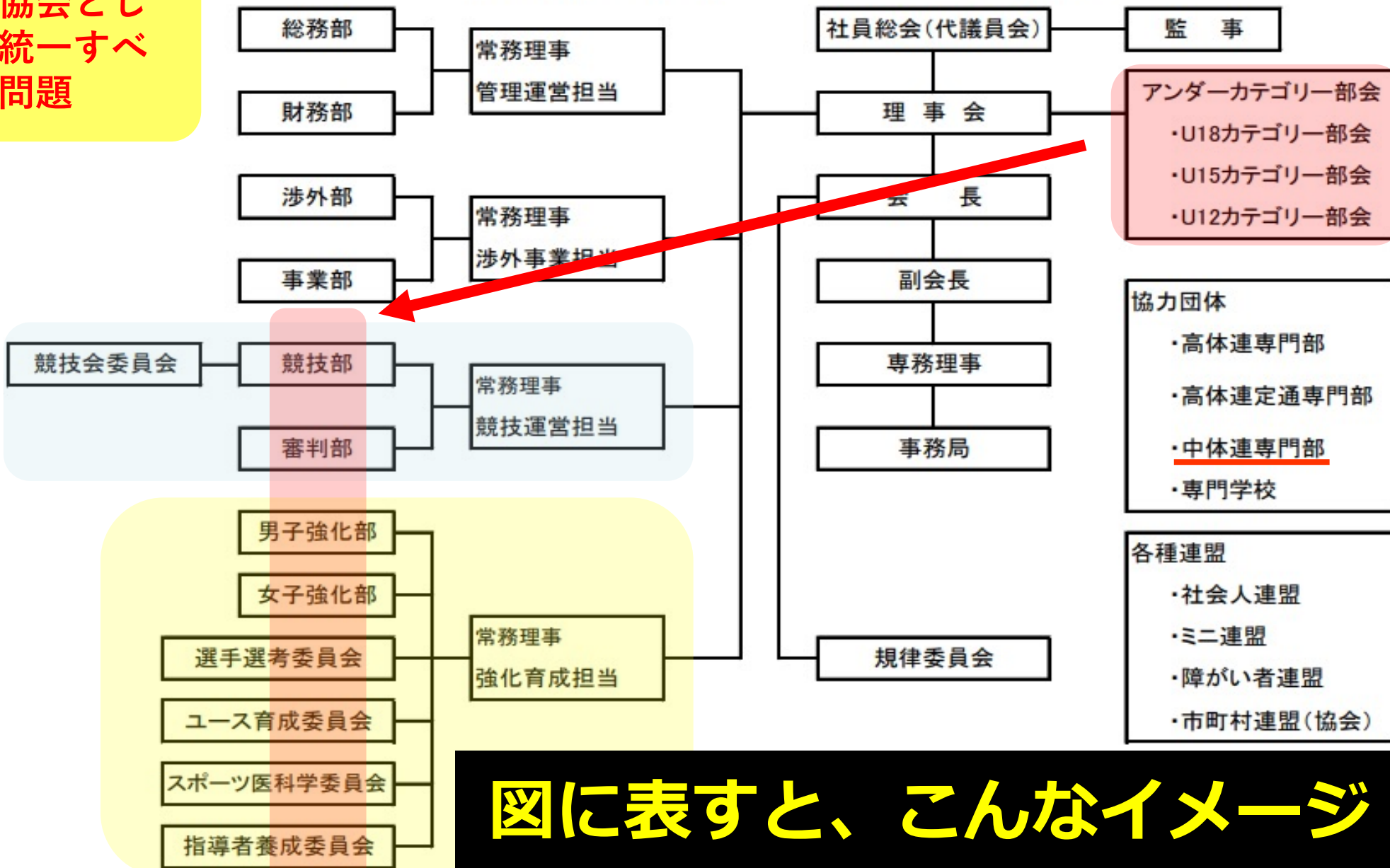
- 育成委員会とアンダーカテゴリー部会は別組織、このため会議も別々に行う。
- ただし、それではうまくいかないため、連携をとりながら上手に進める。
- しかし、総括する組織とその機能がないため、連絡体系や役員配置の整理が曖昧なまま統治できなかった。カテゴリー内でのトラブルはリーグ戦事業もDC事業も同時並行に起こり、把握や対応に苦労した。組織全体の方向性の修正が必要だということが全体で確認された。

→ アンダーカテゴリー部会は、各カテゴリーを総括する機能を持ち、カテゴリー内における専門委員会への役員配置や連絡体系等を把握する。

# 7 U15カテゴリー一部会の説明

県協会として統一すべき問題

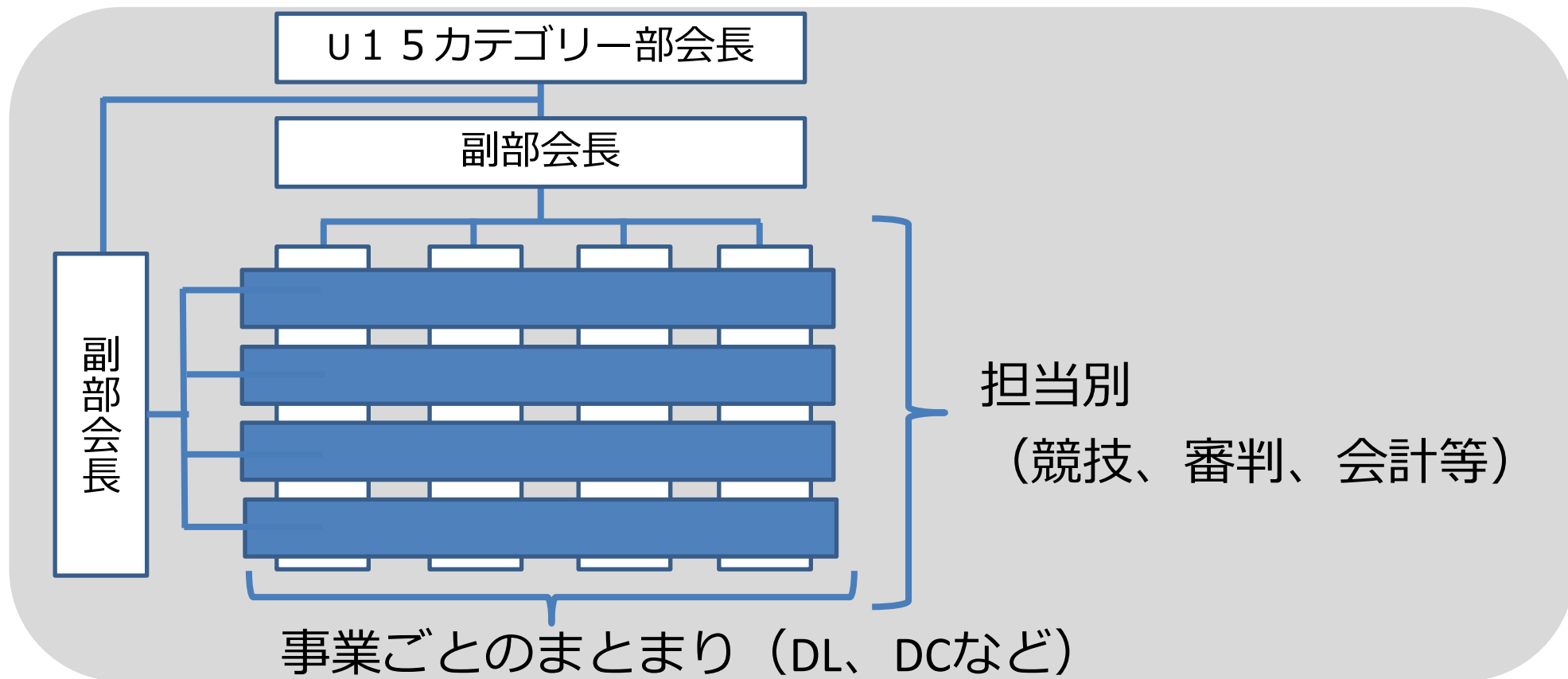
一般社団法人埼玉県バスケットボール協会 組織図



図に表すと、こんなイメージ



# U15アンダーカテゴリー部会の組織構造の考え方



## マトリックス構造

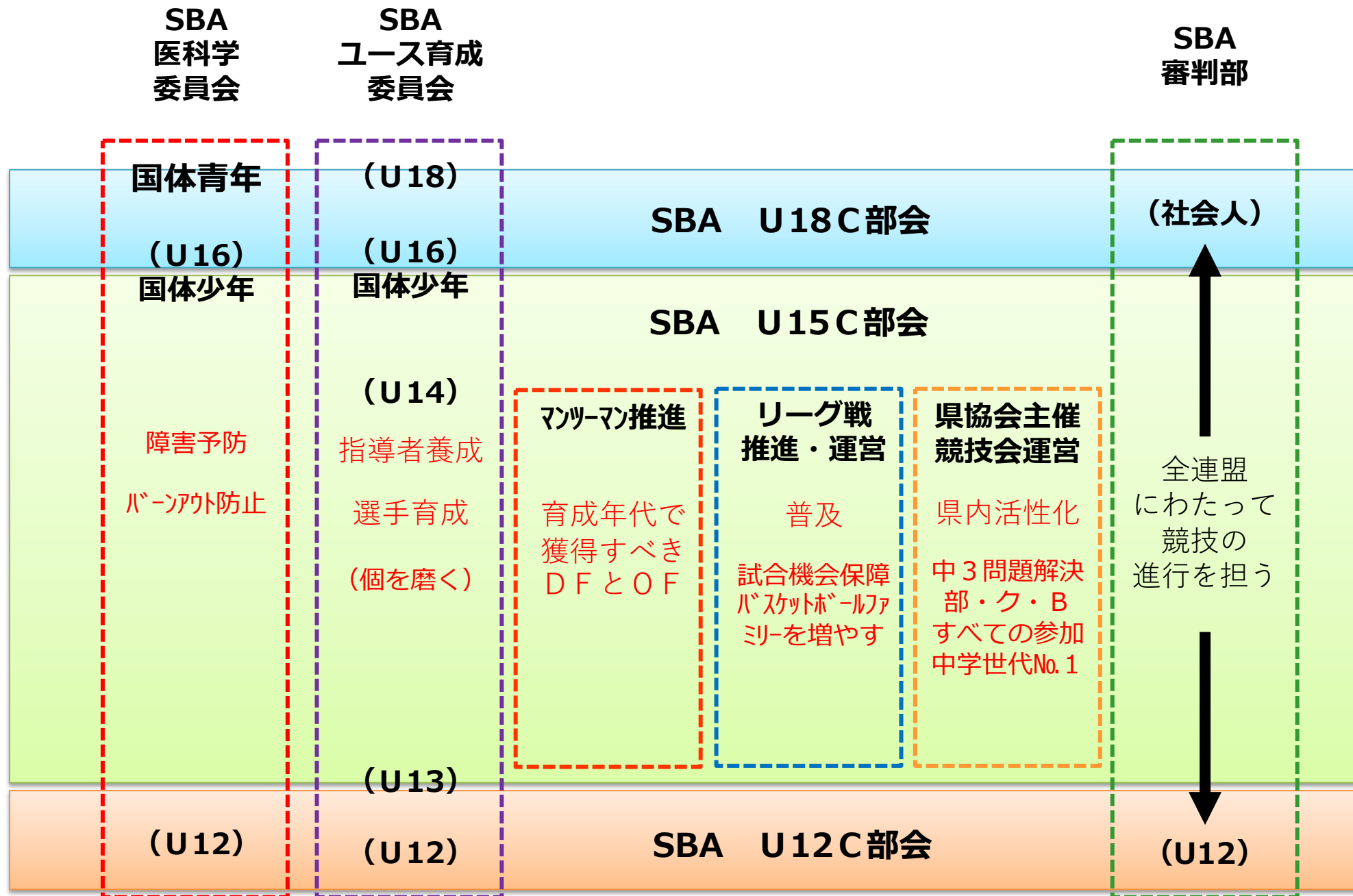
事業毎に各担当をおくことでその事業毎に完結した作業（提案から実施まで）ができると同時に、担当ごとの専門性の向上を目指すものである。

### DLという事業を運営するための組織構造

U15カテゴリー部会の中に、DL事業部をつくり、実務作業はこの事業部内で行うこととした。



# 7 U15カテゴリー部会の説明



## 8 今現在、準備を進めていること

- ◎ **リーグ戦の運営資材のパッケージング**
- ◎ **星取り表などの統一した書式**
- ◎ **各種資料のホームページ展開**

終わりに、、、

- バasketボールが大好きな**子どもたちの未来を、想像よりも素晴らしいものにするために、**全国の皆様とひとつになって、  
**「Team JAPAN」**として  
埼玉県も全力を尽くして頑張ります。
- 今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。  
本日は、ありがとうございました。



一般社団法人 埼玉県バスケットボール協会

U15カテゴリー一部会長 立花 正司

## ここまでで全体会は終了

次はインテグリティ講習です

皆様、一旦ブレイクアウトルームに移動してください

次の時間が始まる際に、ブレイクアウトルームを運営側で閉じます

そのまま待機してください